

いので、意見交換などはされていないところではありますが、これからの時期は町村長が集まることがありますので、監督指導機関には今のご意見をしっかりと伝えて、今後はしっかりとやっていくように私からも言いたいと思いますので、ご理解をいただきたいと思います。

問 今年度、全国的に「ふるさと住民登録制度」が開始され、雄武町も手を挙げて選ばれた経緯があると思いますが、現在はどういう状況と

なっているのでしょうか。

答総合政策課長
「ふるさと住民登録制度」には今年手を挙げたところですが、北海道がモデル地区として選ばれて、雄武町は外れたという状況です。北海道はモデル地区に手を挙げた市町村に対して優先的に支援を行ってくれるというところで、話し合いが進んでいます。事務的にはベーシックとプレミアムというプランがありまして、ベーシックは登録してくれた方に地域の情報を発信するもので、プレミアムは年3回以上雄武町に来ていただいた方が町民と同じようなサービスが受けられるものです。プレミアムの内容として、飛行機の助成をしてはどうかなど、現在検討しています。進捗としては来年の1月にアプリのようなものができるため、それに対して何をやっていこうかということ全国を優先的に採択されたところ

ここで話し合っており、北海道は関係自治体で集まって色々なことを考えているところです。将来的にはこの制度に登録いただいて、移住や交流人口に繋がっていければということで、現在進行形で事業を進めている状況です。

問 北海道電力の電線や光ファイバーケーブルに木が引っかかっていることがあるため、町としても対応するよう北海道電力に働きかけてほしいです。

答建設水道課長
道路敷地から生えている木については、町でも毎年、順次伐木を行っています。北海道電力でも枝払いなどの対応も行っていますので、今後

も順次対応していきます。
問 共栄小学校の跡地について、教員住宅などを有効活用し、地域の活性化につなげていただきたいです。地域の人口も減少している中、今後どのように活用していくのでしょうか。

答財務政策課長
共栄小学校跡地の活用については課題と認識しています。現在、町内の事業所から活用したいとの申し出もあることから、地域のご意見を伺いながら、有効活用に向けて進めていきたいと考えています。今後、改めて地域の方への聞き取りやアンケートなどを実施していきます。

問 鹿が増加しているため、駆除を進めるとともに、捕獲した鹿の処理や鹿肉の利活用についても検討していただきたいです。町では現在、どのように取り組んでいるのでしょうか。

答産業振興課長
令和6年度の鹿の捕獲数は792頭、令和7年度は901頭と増加しています。令和8年度も現時点で142頭を捕獲しており、引き続き捕獲を進めています。猟友会とも協議し、特にメスを捕獲することで個体数の減少につなげるなど、捕獲方法を調整しながら取り組んでいます。また、幌内には鹿の亡骸を処理する施設がありますが、鹿肉の販売は行っていません。

問 道路の草刈りについて、春にも地域で草刈りを行いました。現在は草が伸びている状況です。例年8月ごろに草刈りが行われていると思いますが、もう少し広い範囲まで刈っていただけないでしょうか。

答建設水道課長
町でもミニロータリーの草刈り機を使用して草刈りを行っています。可能な範囲で、道路脇の低い草なども刈るよう現場に伝えたいと思います。

問 幌内郵便局で実施しているオンライン診療について、利用者が少ない状況ではありますが、今後も継続

していくため、定期的に周知していただきたいです。

答地域医療対策室長
オンライン診療については、今後はホームページなどで周知するとともに、広域紋別病院との連携をさらに深めていきたいと考えています。

答町長
オンライン診療については、引き続き継続していくよう広域紋別病院の院長にも伝えていきたいと考えています。利用者が減少すると、取り組みが縮小する可能性もあるため、ホームページやLINEなどを活用した周知に努めていきます。

問 幌内歴史と生活の家に設置されているAEDは、施設が施設されているため緊急時に使用できない場合があります。平日の緊急時にも対応できるように、幌内郵便局や沢木郵便局へのAEDの設置を検討していただきたいです。

答町長
幌内郵便局で緊急搬送につながった事例もあったと伺っています。今後、急性心不全などの緊急事態が発生する可能性もあることから、幌内郵便局と沢木郵便局へのAED設置の要望を前向きに受け止め、なるべく早期に整備できるよう努めていきたいと考えています。

問 雄武町では防災訓練などが行われていますが、防災士の資格を持つ

方を把握しているのでしょうか。地域の防災体制を強化するため、防災士を地域の防災活動に活用していくことも必要ではないでしょうか。

答地域防災室長

防災士の資格保有者については、改めて確認します。資格保有者には、町の総合防災訓練や防災学校などに行けるだけ協力していただき、防災意識の向上につながるよう連携を図っていききたいと考えています。

問 議員定数の減少や議員報酬の引き上げの件はどうなったのでしょうか。

答総務課長

議会議員の報酬の引き上げについては、令和6年9月議会において、議会改革特別調査委員会を設置して議員のなり手不足対策などを中心に議論を重ねてきたようであり、今年の3月23日に議会議長から雄武町議会議員報酬の見直しに係る要望書が町長に手交されたところです。議員報酬については、議会議員の次期改選期である令和9年5月から1か月あたりの報酬額を増額してほしいとの内容であり、その中には議員定数を10人から1人減らして9人とする内容も含まれています。町としましては、町民の有識者からなる特別職報酬等審議会を設置して、内容を審議していく予定です。現在は審議会委員の人選やオホーツク管内町村の議会議員の報酬額などを情報収集し

て資料を作成中であり、今後、町長から審議会に諮問をして委員に審議いただくこととしていますので、議員報酬を引き上げるかどうかについては、現時点では決まっています。

問 町内には特別養護老人ホームとして雄愛園がありますが、収容人数が足りないように感じております。色々な問題はあるのだと思いますが、要介護度が軽くても入れるような施設を整備していただきたいと思うのですが、いかがでしょうか。

答地域福祉課長

要介護度が軽くても入れる施設については、以前からも話が出ておりましたが、町としてどうしていくのかをずっと悩みながら検討してきました。介護の施設に入られた方の費用については、自己負担額以外の部分は介護保険料から賄われることとなっていますので、介護の施設に入られる方が増えると町の介護保険料が上がる可能性が出てきます。このような経緯もありましたので、介護保険に係る施設がいいのか、それ以外の施設がいいのか、どのような運営をしていけばいいのかなどを検討している最中です。今年度、介護の計画を策定しますが、その中でも検討するよう町長から指示がありましたので、慎重に進めていきたいと考えているところです。

答町長

この辺の話はずっと検討している

ところです。昨年の町政懇談会でも、介護保険料が高いのではないかとのお叱りを受けたのですが、介護保険制度が始まった平成12年度、介護保険料は1ヵ月で2500円でした。現在は北海道平均は全国平均と同等くらいですので、6000円を超えている状況なのですが、なぜ介護保険料が高くなってきているかといえますと、国保税や後期高齢者保険料はオール北海道で統一されているのですが、介護保険料についてはそうではなく、65歳以上の保険料については、その町の介護に係る全体費用の17パーセントを65歳以上の雄武町民で割り勘して算出する仕組みとなっているからです。現在、介護施設においても介護をする職員が少なくなってきたため、人件費を高く設定している状況にあります。3年ごとの介護保険料変更の際に、その影響を直接受け、どんどん介護保険料も高くなってきている状態です。保険というのはたくさんかける方がいて、介護保険サービスを受ける方がそんなに多くない状況がいいのですが、65歳以上の人口が少ないところでは、保険料の負担が増加してしまうことになります。このような中で介護保険料に反映されるような施設を整備すると、その分の介護保険料が上がってしまうという話になってしまいます。介護保険料を下げるために税金を補填するということも一つの手段としてあります



が、限界はあるものだと認識しておりますので、例えば、要介護度や要支援度が低く比較的自立して生活はできるが、一人だと心配という方を介護の必要がないようにしていく施設、介護保険料に影響が出ない見守りがあって住むことができる施設を考えていかなければならないと思っています。管理者がいる高齢者の専用住宅や、病院に近い高齢者の専用住宅などが、今のところの選択肢の一つなのかなと思っています。今年度、介護保険計画も策定しますので、策定委員会の中でもこの件を議論させていただき、先送りできない課題として、検討を前に進めていきたいと考えています。